



社協お知らせ 第6号

内部地区社会福祉協議会 広報部 Tel.059-347-1224 発行日：平成22年2月16日

子育て支援特集

はじめに

近年、少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化の中で家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等といった問題が生じています。

このような事から、内部地区においても子育て親子の交流等を促進する目的で、子育て支援活動を実施されている団体があります。

今回のお知らせ版では、最近になっていくつかの地域で草の根的に生まれ、地域に密着した親子の交流会活動を行っている団体（紙面の関係で全ての団体のご紹介が出来ませんが）をご紹介します、地域での子育て支援へのご理解とまた、子どもの健やかな育ちを促進するお役に立て幸いと思います。



子育て支援情報交換会の様子

内部地区市民センター地域マネージャーより

内部地区は四日市市の中では高齢化率が低い方なのですが、新興住宅地・社宅以外の地域においては高齢化率が高く、地域によってその差が大きいのが現状です。そういった中、地域マネージャーとして特に生涯学習事業メニューを計画していく中で、“子育て”と“環境”を地域の課題として取り組んでいます。その中でも、内部地区特有の自治会集会所単位の子育てボランティア活動に対してセンターや市社協から支援をいただき、地域でのふれあい交流に役立てていただいています。

新興住宅地は核家族化が進み、高齢者と子育て家族のふれあう機会が減って子育ての知恵や経験談を教えていただける・・・そんな居場所が必要なのでは・・・反対に高齢化が激しい地域では一人暮らしのお年寄りがいきいきと地域の子ども達とふれあえるそんな身近な居場所があれば・・・地域によって特徴も課題も様々です。

何れにせよ、そういった問題と向き合い、またご自身の事として捉えて活動してくださっているボランティアの皆様には本当に頭の下がる思いです。これからも子どもからお年寄りまでいきいき元気で、内部に住んでよかった！内部に住みたい！と思える故郷であり続けて欲しいです。

子育て支援に関する問い合わせ先

内部地区市民センター 地域マネージャー 原 真由美 電話番号：059-345-3951

ふれあいいきいきサロン 「北小松ちびっこ教室」

活動場所：北小松公会所

代表者：堀 良子

活動日：月1回 第2土曜日

時 間：10:00～11:30

「地域で開催され、身近な憩いの場がほしい」と住民の声があったことから立ち上がりました。

子育ての中で話し相手の必要な人、また高齢となり外出する機会の少ない人など対象に自由参加です。情報交換しつながり合う場として喜ばれています。

有志ボランティア3人が常時体制で運営しており、場所は公会所で月1回（第2土曜日、AM10:00～11:30）自治会・長寿会等地域の理解と支えにより活動しています。

内容としましては、昨年3月発足以来外部よりイベントとして「おはなし会」による読み聞かせ、「鈴虫博士」により命の大切さを教えてもらったり、「おもちゃ図書館」に来てもらいゲームを楽しんだり・・・と、他に七夕作り・クリスマス会・折り紙そして環境にやさしく空牛乳パックを住民の方に残してもらい、公会所で利用できる「イスづくり」をしました。イスにつきましては、軽くて持ち運びも簡単で、お年寄りの方に大変喜ばれています。

このように、短いひとときですが「わいわい・がやがや」・・・楽しく過ごしています。

目まぐるしく変わる社会の中、当地区も少子高齢化の波は加速しており、子供や保護者、お年寄りの人が気軽に参加できる交流の場であってほしいと願っています。



ぽっかぽか

活動場所：波木南台集会所

代表者：首藤由佳

活動日：不定期月2回（どなたでも） 笑話会：月2回 第3（水）（木）（65歳以上）

時 間：10:00～11:30

新興住宅のため同じ団地内であっても幼稚園・小学校に入る迄限られたグループでしか繋がりが無いのが現状です。古き良き時代は、地域の繋がり、わが子だけでなくどこの子にも変わりなく挨拶、話し相手、注意などしてくれる人がいた時代でした。いつしか大人が子供に遠慮するようになり、核家族化とともに地域の繋がりもなくなり限られた人達としか繋がらない半面、子供たちの環境も狭くなっていっているように思えました。そんな現状を淋しく、子供たちの将来にも不安を抱いていました。

地域のたくさんの目で子供達を見守り、大人も子供もお互いが育てあっていけるようになりたいという思いで子育て中のお母さん3名で運営する地域交流の場ぽっかぽかができた経緯です。（平成21年1月OPEN）

活動内容は室内遊びやその日の年代に応じて隣接されている公園で外遊び。お出かけ体験企画を取り入れ「竹細工」や「戦争のお話」を聞きに出かけたりしました。

運営していく中で、この団地は新しいため違う土地から同居で来られた年配の方が多かったことがわかりました。老人会がないため友達ができない、挨拶はするけど名前は知らないなど近くにいなながらも知り合いがいない淋しさ、孤独を知りました。シルバー部門として65歳以上と設定し呼びかけたところ数名来てくれたのでこれをきっかけに民生委員さんの協力の下（平成21年5月）笑話会（65歳以上）ができました。

5月から座談で交流を繰り返し、まずは皆で楽しめる事をとグランドゴルフを8月からスタート。10月にはぽっかぽかに来てくれた子供達に笑話会の人々がグランドゴルフを教えてくれて交流をはかりました。少しずつ輪が広がり大人も子供も年代関係なく交流していける場にしていきたいと考えています。



がらがらどんの会

活動場所：森カ山集会所

代表者：井上由佳

活動日：月1回 第3水曜日

時 間：15:00～17:00

・スタート時期

2009年10月21日

・目的・目標・将来の構想など

森カ山社宅内の子育て中の親子が気軽に安心して集える場所作り

・代表者・メンバー・運営体制や組織など

代表：井上由佳 メンバー：代表者+2名

・活動の内容

・対象となる子ども：0歳～小学生

・活動日・時間・回数：第3水曜日15:00～17:00 月1回

・絵本の読み聞かせを中心にこれから考えていきます

・問題・課題

人数が多いため年齢別に分けて行うことも検討、メンバーが少ないのでボランティア募集中

・代表的な活動の具体例

10/21 “すのうほわいと” おはなし会を実施しました。



中堀遊ぼう会

活動場所：中堀町公会所

代表者：中野蒔枝

活動日：月1回 第2金曜日

時 間：10:00～12:00

- ・ スタート時期 平成16年5月
- ・ 目的・目標・将来の構想など

内部地区幼稚園・保育園の「遊ぼう会」への参加は、遠いからか、あまり出かけられる様子もうかがえなかったことと、丁度その頃、地区に小さい子が増えてきた時期でしたので、それなら中堀町公会所を使って、親子で一緒に遊んでみよう、そして子供を通して親同士のつながりが広がれば、という思いで一人一人の親の賛同を得、自治会の承認も得て7名の親子でスタートしました。幼稚園・保育園就園までの短い間ですが、子供たちにとっても、又、お母さん方にとっても有意義な経験であってほしいと願っています。

- ・ 代表者・メンバー・運営体制や組織など

代表者……中野蒔枝

メンバー……中野蒔枝・鈴木公子の2名と民生児童委員（来られる時のみ）

運営体制や組織……全くの自主活動であるが、自治会より団体傷害保険加入代金年12,000円と、図書代として年間25,000円程度（但し、平成20年度で打ち切り）を支給していただいている。

- ・ 活動の内容

対象となる子ども……町内在住の未就園児

但し、園・学校の休日には、OBの参加も可

活動日……月1回第2金曜日 10時～12時

但し、会場の都合等により変更することもある

活動内容……①自由に遊ぶ（約1時間半）

②簡単な製作や折り紙など（約10分程度）

③リズム遊び（約10分程度）

②と③はその時の子どもの状態により変更あり

④絵本の読み聞かせ（約10分程度）

⑤絵本貸し出し

- ・ 問題・課題・悩みなど

特にないが、地区の幼児が少なく、参加の親子が一組だけという時など、より効果的な結果とならないのが残念である。

- ・ 代表的な活動の具体例

1日の遊びの締めくくりとして、毎回絵本の読み聞かせをしています。
回をかさねるごとに、上手に聞けるようになり、楽しんでいます。

